

### サウンドアップテクニック

#### テクニック 1

- デッドニングの基本はサービスホールを塞ぐことです。サービスホールの一部を残すことで音の調節ができます。スピーカーの動きが悪い、低音が出にくい・音がこもるなどの問題があれば、サービスホールの調整をしてください。
- 車種によっては配線がたくさん出てきているサービスホールがあるので、無理に埋めずにそのままにするのも一つの手段です。

⚠ ただしサービスホールを残しておく場合は、ビニールを残すなどの防水処理をおこなってください。

#### テクニック 2

- ドアパネル以外にも、カーペット下のフロアや、タイヤハウスなど、いろんな部分にデッドニングすることでロードノイズを低減でき、理想的な音響空間へと近づけることができます。



#### テクニック 3

- スピーカーから出た音は、インナーパネルと内張りの隙間に入り、内張りの共振や、ノイズの原因になります。厚さのある防音テープをスピーカー外径にあわせて囲いを作ること、内張りのスピーカーグリルへスムーズに音を導き、インナーパネルとの共振も最小限に抑えることができます。



#### テクニック 4

- パワーウィンドウなどのハーネスも、音圧で共振することで内張りにこすれ、ノイズの原因になります。防音テープ(5mm)をハーネスに巻きつけることでノイズを防止することができます。その他、ドアロックロッドなどいろいろな部分でも使用できます。

